

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○危機管理体制の構築
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	<p>・様々な危機事象から県民の生命や財産を守るため、本県で新型コロナウイルス感染症や豚熱等が拡大した経験を踏まえ、想定される危機事象ごとに、対応する行動計画を時系列で整理した「タイムライン」の策定など、危機管理体制の構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査のための人材育成			
		積極的疫学調査等の研修の受講者数(累計)			
		20名	20名(40名)	20名(60名)	
担当部課【連絡先】	保健医療部感染症総務課		【 098-866-2014 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組んだ。				新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため保健所体制の強化に取り組む。		

活動指標名	積極的疫学調査等の研修の受講者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	17名	20名	85.0%	概ね順調	新型コロナウイルス感染症等の実地疫学調査に関する専門的な知識や技術を習得させるために国立感染症研究所が実施した講習 (3時間×4日) 17名が受講した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

受講希望の登録期限とされていた令和4年10月は、新型コロナウイルス感染症の対応で保健所はまだひっ迫の状況にあったが、17名の保健師が講習を受講し、最新の科学的知見に基づいた知識や技術を習得した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	新型コロナウイルス感染症の対応で保健所業務はひっ迫していたが、受講者の受講時間確保のため、所内・班内の業務を調整した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新型コロナウイルス感染症への対応が優先され、受講機会を逸した対象者がいたと思慮される。	① 執行体制の改善	達成割合の向上に向けて、保健所等と意見交換を行い、改善策を模索する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○危機管理体制の構築
主な取組	新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所業務の効率化		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	<p>・様々な危機事象から県民の生命や財産を守るため、本県で新型コロナウイルス感染症や豚熱等が拡大した経験を踏まえ、想定される危機事象ごとに、対応する行動計画を時系列で整理した「タイムライン」の策定など、危機管理体制の構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
新興・再興感染症の流行拡大に備えた保健所体制の強化を図る。	県	積極的疫学調査等の保健所業務におけるデジタル化推進			
		新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催(全体演習回数)(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	保健医療部感染症総務課		【 098-866-2014 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため、デジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図った。				新興・再新興感染症陽性者確認と追跡調査による接触可能者の感染確認を迅速に行うため、デジタル化を推進し、保健所業務の効率化を図る。		

活動指標名	新興・再興感染症感染拡大を想定した支援システム利用訓練の開催 (全体演習回数) (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		順調
	—	—	1回	1回	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
訓練の結果、療養証明書発行業務にRPAを導入することとなり、事務作業の効率化・省力化に繋がった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	各保健所で異なっていた様式を統一し、作業要件の簡略化を行うことで、RPAの円滑な導入を図った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	保険給付の手続きのため、療養証明書の発行ニーズが高まるなか、迅速に対応できた。	⑥ 変化に対応した取組の改善	今後も、県民ニーズの変化に対応できるよう取り組んでいく。